

研究員 NOW！！ No.3～ 第2次授業研究を終えて ～

単元「環境を守るわたしたち」

「持続可能な社会をつくる構成概念」を取り入れて、学習を進めました。また、調べて分かった社会的事象と構成概念を関連付けることで、構成概念を踏まえた知識を獲得しました。

まとめる段階の「サステナブル・タイム」では、「これからの環境保全のために大切なこと」を考え、交流することにより、持続可能な社会に向けてどのようなことが大切かを考えることができました。

【笠東小 田中 隆晃】



単元「自動車をつくる工業」

学習問題「自動車づくりに関わる人は、よりよい自動車をたくさんつくるために、どのような工夫や努力をしているのだろう」に対して個々で立てた仮説の検証に向けて、調べ学習を進めました。各授業の終末には、自らの学習を振り返り、仮説を検証することができたかについて、自己評価と他者評価を行いました。評価活動を通して自らの学習状況を把握し、それを基に次時の学習計画を見直すことで、自らの学習を調整しながら問題解決に向かうことができました。

【天子田小 永瀬 智仁】



単元「世界の未来と日本の役割」

世界の諸課題の解決を目指す日本が、これからどのような取組をすればよいかを考えるために、JICAの取組の中から教育と農業に焦点を当て、PMIシートを使って「良い点」「残念な点」「気になること・疑問」の三つの項目で評価しました。自分の考えを基に立場ごとに話し合い、最後に自分のPMIシートを見直しました。学習活動を通して、JICAの取組について新たな考えを獲得したり、再評価したりする子どもの姿が見られ、その後の「未来会議」において、よりよい解決策を考えることができました。

【北一社小 勝田 洋光】





単元「民主政治と政治参加」

学習課題「若者の積極的な政治参加を実現するために解決すべき課題は何か。」を設定し、「構造分析シート」を使って、若者の積極的な政治参加が難しい現状を、「シルバー民主主義」や「若者の立候補のハードルの高さ」といった様々な要素が複雑に関連していることを捉えた後に学習課題についての解決策を学級全体で話し合いました。学級全体の話合いを通して、「よりよい民主主義社会の実現に向けて大切にすべき考え方」を様々な立場を踏まえながら、生徒一人一人がまとめることができました。

【富士中 山本 亮介】

単元「日本の諸地域 近畿地方」

学習課題を「京都市は、開発か景観保全のどちらに力を入れるべきだろうか？」と設定し、学習を進めました。まず、事実やデータを整理して「考えプロセスシート」を作成したことで、根拠をもって学習課題に対する考えの論拠を述べることができました。次に、「考えプロセスシート」を活用して、学級全体で「主張→反論→反ばく」の流れで話し合い活動を行いました。反ばくの際に、小グループでの話し合いを取り入れたことで、多くの生徒が異なる考えに触れながら近畿地方のより望ましい社会を考えることができました。

【天神山中 服部 樹】



単元「日本の諸地域 中部地方」

学習課題「中部地方の人々にとってリニア中央新幹線を建設することに賛成か反対か」に対して、「課題解決系ロシート」を基に学習計画を立て、個々に個別学習や協働学習を選択し、学習を進めました。その後、それぞれの立場に分かれて討論を行いました。「考えをまとめる」段階では、自ら学習して得た知識や討論で得た知識を「情報整理シート」で整理し、単元レポートに記述しました。多くの生徒が多面的・多角的に考察した上で自らの考えを記述することができました。

【伊勢山中 大塚 基央】

